



BLSO コース ー前橋赤十字病院ー



□

Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。1991年に開発され、1993年にコース権利はAmerican Academy of Family Physicians (AAFPー米国家家庭医学会)によって認可された。現在全米では多くの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられている。さらにALSOコースは世界的に普及活動が行われており、2009年現在までに、50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを完了した。

日本では 2008 年 11 月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、約 600 名が ALSO コースを修了した。参加者は産婦人科医、プライマリケア医、研修医、救急医、助産師、医学部生、そして救命救急士などであり、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加している。産科救急医療は、産婦人科医だけではすでに成り立たない状況になりつつあることは周知の事実である。日本全国のすべての地域でできるかぎり同じレベルの産科医療を維持するには、産科医療に関わる可能性のある人たちがトレーニングできる場を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要がある。まさにその足がかりとなるトレーニングコースが ALSO であり、今後日本で普及していくことを願ってやまない。

ここ数年、主に病院前産科救急を想定して、ALSO の前段階の産科救急基礎コースとも言えるトレーニングコースが、世界中で実験的におこなわれるようになった。それが、BLSO (Basic Life Support in Obstetric) コースである。BLSO は交通事故などの妊婦外傷を含む病院前の産科救急的対処を強調しており、特に産科救急に突然遭遇する可能性のある救急医、救急ナース、そして救急救命士を対象とした教育コースであると言える。コースは一日コース。少人数グループによる重要ワークショップは正常分娩、分娩第3期の処置、肩甲難産、産後大出血の対処、新生児の処置・蘇生法である。また筆記試験とマネキンによる実技試験がコースに含まれている。BLSO コースを受講し試験に合格した場合、参加者は AAFP と ALSO-Japan が認定する 5 年間有効の認証を受けることができる。

セミナー：BLSO コース

主催：公益社団法人地域医療振興協会

共催：NPO 法人 周産期医療支援機構(OPPIC)

前橋赤十字病院

開催場所：前橋赤十字病院

日時：平成23年9月19日(月・祝) 10:00～17:30(予定)

費用：15,000円

募集受講定員：18名程度

担当：公益社団法人地域医療振興協会 公益事業部 稲田絃一

申込方法：当協会 HP(<http://www.jadecom.or.jp>)内、「募集情報」への掲載をもって、募集開始とし、定員になり次第、募集は終了と致します。



- 関越自動車道前橋I.C.より…車で20分
- JR前橋駅より…バスで7分、徒歩で20分
- 上毛電鉄「城東駅」より…徒歩で10分